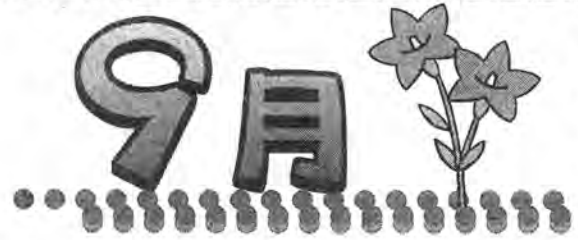


茅ヶ崎市立鶴が台中学校

鶴が台

若き心 集まるところ



令和2年9月号 校長 伊藤 盛人

コロナウイルスに負けるな！ 台中生 新生活様式で再スタートです

約2週間の夏休みもあっという間に過ぎました。本来ならば、東京オリンピック・パラオリンピックで日本国中が大騒ぎしている夏休みでしたが、コロナ禍の中で粛々と過ごさねばならない残念な夏休みとなってしまいました。しかし、本日みなさんが元気に登校する姿を見て大変ほっとしているところです。

「新生活様式」の協力を感謝します 6月の学校再開を振り返って

学校が再開した6、7月を振り返ると実に制約が多く苦労の2か月間でした。授業ではペアワークを制限したり、密をさけてソーシャルディスタンスを保ったり、手洗いの励行をお願いしたりなど、学校生活の一番大切なコミュニケーション活動に制約を受けることは教育活動を営んでいく中で大変なことでした。そんな生活の中で無事に学校生活を送れたことはとてもありがたいことでした。生徒一人ひとり、保護者をはじめご家族のみなさん、そして地域のみなさんのご協力あってのことと思います。本当にありがとうございました。

本日から再び学校は始まります。残念ながら、依然として状況は好転していません。緊急事態宣言は出されていないものの日々の県内の発症者は多数で、高い数値でとどまっています。そんな中でも学校は「新生活様式」の下で安全第一に万全の注意を払って学校運営をしています。引き続きご協力をお願いします。



ゴールデンエイジの自覚をもって コロナ禍の中でも全力疾走を

昨年9月号にも中学生の世代が「ゴールデンエイジ」及び「ポストゴールデンエイジ」であることをお話しました。

以下は昨年9月号からの抜粋です。



みなさんは「ゴールデンエイジ」という言葉を知っていますか？ゴールデンエイジとは、9～11歳までの若い世代のことを指します。また、12～14歳までの世代を「ポストゴールデンエイジ」と呼ぶそうです。ゴールデンエイジとは、まさしく中学生の世代、つまり君たちの世代を指すのです。

では、なぜゴールデンエイジと呼ぶのか？運動生理学でいうと人間の「運動神経」はこの時期が最も発達する時期だからです。具体的に言うと学んだことがすぐに身に付き、すぐに活用できる時期です。これはスポーツば

かりではなく、楽器の演奏、絵画の製作などにも当てはまり、浮かんだ自分のイメージを最も早く実現することができる時期です。また、12～14歳のポストゴールデンエイジは、学んだことを頭の中で整理して考えながら実行する時期と言われています。

毎年、夏休み明けからの4か月が中学生が一番成長できる時期であると感じています。

その内訳は

○1年生は学校に親しみ、中学校生活の基盤を作り上げる時期です。

○2年生は3年生に代わって次期リーダーとして学校を背負う時期です。

○3年生は将来に向けて進路選択そして進路決定を、実力を蓄える重要な時期です。

前代未聞のコロナ禍という逆境の中で「ゴールデンエイジ」を迎える生徒ですが、苦しい時期でこそ、生徒が学ぶべきことはたくさんあると思います。生徒一人ひとりには逆境の中でも自分自身をしっかり見据え、コロナ禍を生き抜いてもらいたいと思います。



(生徒会スローガンを美術部3年生が制作した作品です)

学校行事についてのお知らせです

誠に残念ですが、学校行事が次のように変更になります。

先日、コロナウイルス感染予防の観点で市教育委員会とも協議の結果、安全な学校教育活動の運営のため次の校外活動については中止することになりました。他の行事についても情報が入り次第、お知らせをさせていただきます。今後ご理解をお願いします。

- 1年生 9月18日(金) 海の生物観察会(真鶴方面) 中止
- 2年生 9月27日(月)～28日(火) 宿泊研修(愛川ふれあいの村) 中止
*8月27日(木)の学年懇談会は中止します。
- 3年生 9月22日(火)～24日(木) 修学旅行(関西方面) 延期、場合によって中止
*8月26日(水)の学年懇談会は予定通り実施します。

新生活様式を確認して 安全で健康的な学校生活を 自ら守ろう

生徒会本部役員によって「台中の新しい生活様式」についての提案がされています。

職員室前の壁に掲示しています。今一度、私たちが守るべきことを再確認して学校生活に臨みましょう。



休み明け後に心配が ありましたら、ご相談を

夏季休業期間を終え、皆さんの元気な姿を見て、本日、安心したところです。しかし、生徒によってはこの休業期間中に本来の生活習慣を崩し、学校生活のリズムが戻せず、悩みを抱える生徒もいます。何か困ったことがありましたら、学校へご相談ください。